



こんがりとやけた子ども達の顔に、このひと夏で成長を感じているこの頃。

長かった休みも終わり、また元気に過ごしている子ども達です。

季節はだんだんと秋に近づいてきました。



・制作

コーナー遊びをして遊ぶことが増えました。制作やパズル、玩具など子ども達が自分の好きな遊びを自分たちで考えて遊べるようにと、ねらいをもって取り組んでいます。初めは、どうすれば良いのか分からず、友達と同じところで同じ遊びをすることが多かったですが、少しずつ自分のしたい遊びをする子が増え、いつもとは違う友達と遊ぶ姿も増えました。制作コーナーでは、折り紙や画用紙など自分たちで素材を選んで楽しんで作っています。初めは、折り紙を丸めることが多かったですが、保育教諭と一緒に作ったり、きりん組のお兄さんお姉さんが作っているのを見たりする中で、少しずつ形のあるものを作るようになってきました。折り紙の本を持って来て、友達同士で「こうかな?」と考え、教え合う姿も増えています。作りたいものをイメージして、何を使えば良いか、どのようにすれば良いか等自分で考えて試してみることが大切です。作った作品を持ち帰った時は、何を作ったかや、どのように作ったのかなど聞いてみてあげてください。

話すことで相手分かるように、説明する力もついてきます。

・台風が過ぎた後、木の枝が地面に落ちていることを不思議に思い、話していたときのコマです。

Aちゃん『先生！見て！木が落ちとるで！』

保育教諭『ほんまやな。なんでやろ?』

きりん組『台風で風が強かったから!』

保育教諭『Aちゃんはなんでやと思う?』

Aちゃん『雨が降ったからやと思う。雨で葉っぱがぬれて落ちたんやと思う。』

保育教諭『そうかもしれんな〜。たくさん雨が降ってたもんね。』

この会話では、きりん組のお兄さんも一緒に話をしています。まだ自分の意見が上手に話せなかったり、自分の意見を持っていても自信がなく、友達の意見に合わせてしまったりする子がいます。そんな中でAちゃんは、きりん組のお兄さんの前でもきちんと自分の意見を言うことが出来ていました。今までは、自分の意見を持っていても、それを伝えるのが苦手で、友達の意見に合わせてしまうことが多かったため、自分の意見を伝えられていることに驚き、成長を感じました。

その答えが合っているかどうかよりも、子ども達一人一人が想像したことを言葉にして誰かと共有することが大切です。相手の話を聞きながらも、自分はこう思うという意見を伝え合っていけるよう今後も考えたり、話したり出来るように問いかけていきます。

9月の予定



2日(月)	消火訓練	
5日(木)	ふれあい牧場	別紙をご確認ください。
6日(金)	バター作り	別紙をご確認ください。
9日(月)	体操教室	体操服を持って来て下さい。
10日(火)	祖父母参観	手作り玩具を作って遊びます。
20日(金)	身体測定	
24日(火)	体操教室	体操服を持って来て下さい。
25日(水)	博愛苑訪問	午後から、きりん、ぱんだ組が行きます。歌やダンスを披露します。
27日(金)	お誕生会	

